

式 辞

内浦湾を渡る清々しい風と共に、暖かい春の日差しが降り注ぐ季節となりました。

本日、ここに、

P T A会長	赤 塚 顕 爾 様
長万部町立長万部中学校長	柴 野 貴 史 様
長万部町立長万部小学校長	寒河江 孝 之 様

並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、令和七年度 北海道長万部高等学校入学式を挙行できますことは、この上ない慶びでございます。

ただ今、入学を許可された七名の新入生の皆さん、入学、おめでとうございます。私たち、長万部高等学校教職員並びに在校生一同、心から歓迎いたします。

また、保護者の皆様には、お子様が本日晴れて、長万部高等学校の生徒として新たなスタートを切られましたことに対し、心よりお祝い申し上げます。本校といたしましては、お子様の立派な成長を目指し、皆様と力を合わせて、充実した教育活動に取り組んでまいりますので、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、皆さんの高校生活のスタートに当たり、二つの言葉を贈ります。

一つ目は、「主体的に行動する力」を身に付けてほしいということです。

本校の校訓「和而不同（和して同ぜず）」には、「他者を尊重し協力しつつも、自己を確立し大勢に同じることのない主体性」を身に付けてほしいという願いが込められています。この言葉は論語の一つであり、「小人同而不和（小人（しょうじん）は同（どう）じて和（わ）せず。）」と続きます。

主体性をもつ人は、軽々しく他者に同調することはないが、主体性がない人は、他者と同調するだけで、協働することができないという意味です。これからの生活において、皆さんは、自らの考えで、主体的に課題を解決していかなければなりません。しかし、それは、一人では成し得ることは難しく、仲間や地域の方々と「協働」することが大切です。自分自身をしっかりとった上でお互いのことを考えることができ、共に成長し合える関係を築いてほしいと願っています。個性を発揮しながらも、互いに尊重し合う「和して同ぜず」の集団となることを期待しています。

二つ目は「しなやかに たくましく 社会を生き抜く 人としての力を育む」という言葉です。この言葉は、本校の教育目標です。

「しなやかに」には、「心がすぐに折れない柔軟性」を、「たくましく」には、「困難や課題から逃げない強い心身」を、「社会を生き抜く人としての力を育む」には、「予測不可能な社会をしっかりと生き抜いていくための力を育みたい」という思いが込められています。

高校教育の改革により、基礎的基本的な知識や技能だけではなく、思考力・判断力・表現力のや学びに向かう力・人間性等の育成にも重点がおかれています。本校においても、地域における、課題発見と解決に向けた「探究活動」を中心とした取組を推進しているところです。この探究活動では、皆さんが積極的に地域に足を運び、地域の方々と関わりの中で、話を聴き、学び、研究を重ねることで、自己の生き方を考えることを目的としています。将来、地域の未来を担う人になることを期待しています。

高校生活が始まります。皆さんが、思い描いている未来はどのようなものでしょう。今日の思いを忘れないでください。

「なりたい自分になるために」

それぞれの未来へ向かい努力されることを期待しています。

結びになりますが、保護者の皆様のお大切なお子様をお預かりいたしまして、皆様と十分連携を図りながら、地域から一層信頼され、必要とされる学校を目指し、教職員一丸となり、教育活動に努めてまいります。

保護者の皆様の、本校への変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、本日入学された新入生の皆さんの大いなる健闘と活躍を期待いたしまして、式辞といたします。

令和七年四月八日

北海道長万部高等学校長

土 屋 靖 雅